

三島駅南口再開発 市と東急など協定

観光交流拠点整備へ

三島市のJR三島駅南口西側の再開発で、市と市土地開発公社が三十一日、東京急行電鉄(東京)と子会社「東急ホテルズ」と広域観光交流拠点の整備に向けた基本協定を結んだ。写真。

東急が再開発の事業者として正式に決まった。

協定により、東急は市と市土地開発公社が所有する同市一番町の土地〇・三四畝を買収し、地上十六階建て二百室のホテルを整備する。一、二階には地場産品の販売所や飲食店、観光案内ブースが入る。開業は二〇二〇年四月の予定。

協定締結式で豊岡武士市長は「三島の地域資源を生かした計画。広域観光の拠点になってくれる」と期待した。東急の渡辺功専務は「外国人観光客が増える中、富士山に近い立地で、

自然や歴史も素晴らしくポテンシャルを持っている。三島、伊豆半島の発展に尽力したい」と述べた。

(佐久間博康)

